

中小企業あきた

1 河野一郎財務省東北財務局長が来所 1
～東北管内の経済情勢等について意見交換～

2 野見山浩平日本銀行秋田支店長が来所 2
～県内中小企業の経営状況等について意見交換～

○中小企業組合等支援施策情報 3
○景況レポート 8月分 4
○組合・企業探訪 6

○話題の広場
中央会事業より 7
アラカルト 8
支援団体活動レポート 8
新設組合紹介 10
インフォメーション 10

10
OCTOBER.2015



TOPICS 1
トピックス SPECIAL FEATURES

河野一郎財務省東北財務局長が来所

～東北管内の経済情勢等について意見交換～

9月8日(火)、財務省東北財務局の河野一郎局長等が本会を訪れ、本会藤澤正義会長並びに伊藤邦夫専務理事と東北管内の経済金融情勢等について意見交換を行いました。

河野局長は、金融庁証券取引等監視委員会の事務局次長を経て今年7月から現職にあり、就任挨拶のため本会を訪れたものです。

本会藤澤会長は、「東北の経済指標において本県は最下位争いをし

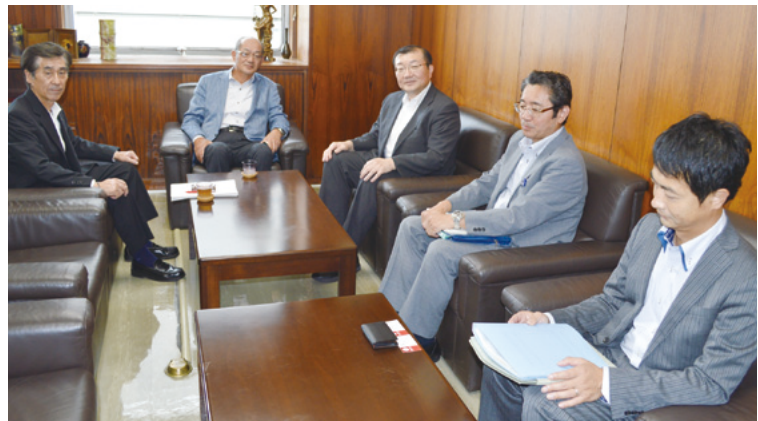
ているが、秋田らしさや優位性を示せるものを提示していきたい。10年のスパンで形になるようなものを考えていきたいし、そうした土壌は十分にあると思う。また、秋田は資源大国であり、再生可能エネルギーの可能性も非常に高い。」と述べられました。

これに対し河野局長は、約30年前に国税庁仙台国税局での勤務経験があり、当時出張で訪れた秋田の思い出話を花を咲かせながら、「東日本大震災の復興需要により景気が回復しつつある岩手県や宮城県と比較して、経済の回復が弱い秋田県の活性化に向けて、国をあげて『地方創生』に取り組んでいる今のチャンスを逃さず、有能な人材が働ける場所を確保するなど、秋田県の活性化に取り組んでもらいたい。例えば、当初1年間企業にマンツーマンで張り付き経営指導を行うような工夫をして新規創業を支援している例もある。」と述べられました。

また、河野局長は、「金融機関が金利競争をしていたのでは収益が悪化するので、顧客である企業を様々な形で支援して地域を活性化するとともに、健全性を維持してほしい。」と地方の金融機関における今後の役割についても持論を展開されました。

なお、財務省東北財務局より、金融犯罪被害に対処するための「出前講座」並びに職場研修や町内会などの地域グループにおける「財政・経済・金融」をテーマとした勉強会の無料実施に関するご案内がありました。詳しくは、財務省東北財務局のホームページをご覧ください。

〔財務省東北財務局のホームページ〕 <http://tohoku.mof.go.jp/>



〔東北財務局河野局長(右奥)と本会藤澤会長(中央)〕